

東日本大震災からみた 海岸林の津波減災機能と再生の10年

日本海岸林学会では酒田大会の実施にあたり、一般公開シンポジウムを開催いたします。当シンポジウムでは、海岸林のもつ多面的機能のうち、東日本大震災において注目された津波減災機能についてわかりやすく解説するとともに、その後の海岸林の再生の様子（静岡県遠州灘、北海道白糠町など）や学会活動における「海岸林の将来」についての議論をご紹介します。

■ 日時：2023年 10月29日(日) 13:00~14:05

■ 場所：東北公益文科大学 酒田キャンパス 301大教室（教育研究棟3F）

■ 報告・パネリスト

坂本 知己 氏 元森林総合研究所
鷲山 立宗 氏 静岡県農林技術研究所
岡田 穰 氏 専修大学商学部
佐藤 亜貴夫 氏 国土防災技術株式会社

■ コーディネーター

萩野 裕章 氏 森林総合研究所東北支所



再生する海岸林（仙台市荒浜地区）

■ 主催：日本海岸林学会

■ 共催：東北公益文科大学 地域共創センター 防災・環境部会
出羽庄内公益の森づくりを考える会

○対象：どなたでも ○参加費：無料 ○申込み：不要

☆当シンポジウムに引き続き、同会場にて「庄内海岸松原再生計画の現状と課題」をテーマとしたシンポジウムを開催いたします（14:15~16:00）。専門的な内容になりますが、どなたでもご参加可能です（無料、申し込み不要）。

☆ お問い合わせ ☆

東北公益文科大学 地域共創センター

〒998-8580 山形県酒田市飯森山3-5-1 ☎ 0234-41-1115 ✉ kyoso@koeki-u.ac.jp